

地域の方々と触れ合い、 地域を愛する子どもたちを育てる錦津小学校

錦津小学校

1 はじめに

錦津小学校は、明治6年「継志学校」という名で設立され、今年で142年を迎えます。その当時から、将来を担う子どもたちを育てるための大切な学校として、地域の方々に支えられてきました。そんな、本校の教育を語る上で、地域の方々と触れ合う学習は欠かせません。今回は、そのいくつかを紹介します。

2 地域の方々と触れ合うふるさと学習

(1)お茶摘み会



毎年5月、多くの保護者、祖父母、地域の方々が集まり、全校の子どもたちと一緒にお茶摘みをします。摘み方を教えてくださるのは、おじいさんやおばあさん。「一芯三葉と言ってね、ここを優しく摘むんだよ。」

今年も5月18日に行われました。天候の良い日が多く、少し大きめで固い葉が多かったようですが、みんな夢中になって新芽を摘みました。今年は何と40.3kgもの茶葉が獲れました。

6年生は、摘んだお茶の一部を煎って、むしろの上で茶揉みをします。「私が小さい頃はね、家族のお手伝いをする日は、学校はお休みだったんだよ。」と昔の生活についても教えていただきました。乾燥して出来上がったお茶は、全校の子どもたちの家庭やお世話になっている地域の方々に配ります。お茶をお届けすると、「今年もありがとう。毎年楽しみにしています。大事にいただいていますよ。」とお礼の言葉をいただきました。



錦津小学校のお茶は、子どもたちと地域の方々をつなぐ、大切な宝物です。

(2)なかよしハイキング

5月13日に、八百津高校へなかよしハイキングに出かけました。八百津高校では、1～6年生の縦割り集団「なかよしグループ」で児童会が計

画したレクを楽しみました。「がんばって」「上手!」と応援し合う声がいっぱい聞こえてきました。午後、八百津高校の生徒のみなさんとの交流。優しく声をかけてくれたお姉さん、おんぶをしてくれたお兄さん。みんな笑顔になりました。



画したレクを楽しみました。「がんばって」「上手!」と応援し合う声がいっぱい聞こえてきました。午後、八百津高校の生徒のみなさんとの交流。優しく声をかけてくれたお姉さん、おんぶをしてくれたお兄さん。みんな笑顔になりました。

(3)にしきつクリーンアップウォークラリー

10月には、「なかよしグループ」でゴミを拾いながら地域をまわり、各ポイントでゲームを楽しみます。昨年度は、錦津保育園で園児との〇×クイズや1年生からのプレゼントを渡したり、遊陶里工房を見学し陶芸の話の話を聞いたりしました。また、道に落ちているゴミを拾うことで、錦津の町も美しくなりました。「自分たちにも、



錦津のためにできることがある。」ということを実感し、錦津を愛する気持ちが高まっています。保護者の方々が、グループに1～2名ついてくださり、子どもたちの安全を見守ってくださいました。協力していただける方が多くみえることも錦津小学校の宝です。

(4)どんど焼き・昔遊び

1月は、1・2年生の子どもたちと保護者や祖父母の方々と、どんど焼きを行います。天高が上がっていく書き初めに「わぁ～」という声があがります。その後は、体育館で昔遊びを体験。こま回し、羽つき、お手玉など、お母さんも童心にかえて遊びます。最後は、どんど焼きでできたおき火でお餅を焼き、おいしくいただきます。寒い冬空の下ですが、家族で食べるお餅は、ほっこりと心を温かくします。

